

平成29年度 第2回 守谷市社会教育委員の会議次第

日 時 平成30年3月27日(火)

午前10時～11時30分

場 所 守谷市役所1階 大会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 議 題

(1) 平成30年度 社会教育(生涯学習)事業の概要について

(2) その他

4 閉 会

(1) 平成30年度 社会教育（生涯学習）事業の概要について

10040102 アーカスプロジェクト参画事業

(単位：千円)

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	4,500	4,500	0	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	0	0	0	
一般財源	4,500	4,500	0	

【背景(なぜ始めたのか)】

地域活性化を目的に、県事業の「国際芸術文化交流拠点整備構想（アーカス構想）」を誘致。平成6年度に試行、翌7年度から「アーカス構想パイロット事業」として本格的に開始され、平成12年度から「アーカスプロジェクト」として現在に至る。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

茨城県主催のアーカスプロジェクトに参画することにより、市民に対し芸術文化活動の体験機会を提供するとともに、地域の文化活動の推進と市のイメージアップを図る。

アーティストとの交流機会を提供することで、子どもたちの豊かな心と感性を育てる。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

県、市、関係機関からなる実行委員会（県事務局）へ負担金を支出し、下記事業を展開する。

- ・現代アーティストの招へい及び制作支援、活動発表会の開催（レジデンスプログラム）
- ・一般向け、子ども向けアートイベントの開催（地域プログラム）
- ・小学校へのアーティスト派遣事業の実施（地域プログラム）

アーカスプロジェクトの運営に際して、市は主に以下の支援を行う。

- ・作家制作の場としてもりや学びの里を提供
- ・市内イベント活動等の運営支援
- ・事業広報活動

10040104 社会教育委員の会議開催事業

(単位：千円)

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	438	404	34	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	0	0	0	
一般財源	438	404	34	

【背景(なぜ始めたのか)】

社会教育法第15条に基づき昭和31年に社会教育委員を委嘱した。

守谷市社会教育委員に関する条例に基づき、15人の委員を委嘱している。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

社会教育に関する計画の立案等を協議し、教育委員会に助言するとともに、社会教育の諸問題について課題を解決し、市民の社会教育活動の活性化につなげる。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

学校教育関係者や社会教育関係者、学識経験者、家庭教育の向上に資する活動を行う方及び公募市民で構成した社会教育委員の優れた知見や知識を社会教育行政に反映させ、市民の社会教育活動の活性化、学校・地域・家庭の連携協力における社会教育の推進を図る。

＜主な議案・協議事項＞

- ・社会教育関係事業及び予算について
- ・公民館の運営について
- ・社会教育委員の活動について
- ・提言書作成のための意見交換 等

10040105 社会教育指導員事業

(単位：千円)

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	2,610	2,605	5	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	0	0	0	
一般財源	2,610	2,605	5	

【背景(なぜ始めたのか)】

昭和46年社会教育審議会の答申により、社会教育指導体制が弱体であるとし、文科省が47年度以降市町村に配置するようになり、平成19年度に市独自の施策として社会教育指導員規則を制定し配置した。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

- ・社会教育活動の知識や経験のある社会教育指導員を配置し、保護者等に生涯学習・家庭教育に必要な知識、技能を学習してもらう。
- ・放課後子ども総合プランがスムーズに運営できるよう推進する。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

社会教育指導員の事業は、家庭教育の推進が主な業務であり、家庭教育を学ぼうとする大人（保護者）に対して学習の機会、場の提供及び指導を行う。

10040109 市PTA連絡協議会支援事業

(単位：千円)

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	154	154	0	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	0	0	0	
一般財源	154	154	0	

【背景(なぜ始めたのか)】

各学校間のPTAの連携を図るために、昭和30年代にPTA連絡協議会活動が開始された。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

研修会等を開催し、教育効果の向上と学校と家庭の連携を図る。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

定例会、研修会、校外指導等を行うに当たり補助を行う。

指導者研修会は、PTA活動に関する課題解決や子育てに必要なスキル向上等、保護者のニーズを考慮した講演会を開催し、指導者の育成を図る。

10040110 タベのコンサート事業

(単位：千円)

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	1,394	1,394	0	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	1,394	1,394	0	協働のまちづくり基金繰入金
一般財源	0	0	0	

【背景(なぜ始めたのか)】

転入者が多く、まちに馴染みのない市民が多くいることから、平成8年、当時の町長から庁舎を活用したイベントの開催が提案されたことから、市役所各課からアイデアを募集したところ、中庭やロビーを活用したコンサートの開催が採用された。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

市民が日常的に芸術に親しみ、生きがいや楽しみを持って生活を送ることで、市に愛着を持ってもらう。(定住意欲を促進する)。また、庁舎で開催することによって、行政を身近に感じてもらう。さらには、プロと同じステージに立つことで、音楽サークルの活動意欲の向上を図る。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

8月の土曜日の宵(18時から概ね21時)に、合計3回コンサートを開催する。舞台の設営や音響・照明は業者に委託するが、当日の受付や舞台配置などは出演サークルが当番で行う。

10040111 もりや学びの里施設維持管理事業

(単位：千円)

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	17,528	13,913	3,615	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	4,693	795	3,898	土地売却収入、もりや学びの里使用料 外
一般財源	12,835	13,118	△ 283	

【背景(なぜ始めたのか)】

旧大井沢小学校の廃校に伴い、その跡地を新たに生涯学習施設として利用するため、平成8年度に「もりや学びの里」を開設した。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

世代を超えて利用できるコミュニティ施設として、市民が安全で快適な学習や趣味活動ができる環境を整え、社会教育活動の充実及び推進を図る。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

廃校施設を市民の学習施設としてサークル活動、研修等に活用し、より快適な利用に供するため、設備、機械等の管理及び保守点検を実施する。

〔主要施設〕体育館/和室/講座研修室/音楽室/調理室/創作工芸室/バーベキュー施設

〔主な施設管理業務〕建物清掃/自家用電気設備保安管理/自動ドア保守点検/体育器具点検/消防施設点検/植栽管理/施設管理等

10040113 子ども会育成補助事業

(単位:千円)

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	231	231	0	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	0	0	0	
一般財源	231	231	0	

【背景(なぜ始めたのか)】

子どもの健全育成に効果があると判断され、昭和31年に守谷市(当時守谷町)子ども会育成連合会が結成された。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

子ども会活動を通し、子どもたちに集団活動のルールなどを身につけさせることができ、また、育成者(保護者)の関心を高め、「市民による健全育成活動の推進」に貢献する。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

守谷市子ども会育成連合会が実施する事業のための会場提供、広報掲載、事業参加募集受付、運営補助等の支援及び補助金交付

10040117 スポーツ・文化振興奨励事業

(単位:千円)

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	1,812	1,668	144	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	0	0	0	
一般財源	1,812	1,668	144	

【背景(なぜ始めたのか)】

スポーツ・文化に親しみ、県代表として全国大会等に出場する市民を奨励し、出場に係る経費の負担軽減を図るため、平成14年度に奨励金交付制度を設けた。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

スポーツ及び文化の振興を図り、市民の健康づくりと文化意識の高揚に寄与する。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

「守谷市スポーツ・文化振興奨励金交付要綱」に基づき、スポーツ又は文化で全国大会出場の功績をあげた個人又は団体に対して記念品と奨励金を交付し、栄誉を讃え、今後、市のスポーツ及び文化の振興と発展に寄与してもらう。

10040121 文化協会補助事業

(単位:千円)

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	920	920	0	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	0	0	0	
一般財源	920	920	0	

【背景(なぜ始めたのか)】

文化協会結成以前には町主催の文化事業がなく、市民の自主的な生涯学習や個性豊かな文化芸術活動を推進するには、担い手となる文化団体を支援・育成する必要があった。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

芸術文化の振興を目的に活動する守谷市文化協会の自主的な事業を支援し、市民の交流と芸術文化活動の向上を図ることで、市の活性化を目指す。

文化協会会員の経済的負担を軽減し、文化事業(美術展、音楽会、各種講座など)を継続して実施してもらう。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

補助金を交付して、ふれあい美術展、芸能大会、芸術祭(市と共催)、伝統文化・伝統芸能子ども教室、茶道教室、陶器市、スプリングコンサート等の文化協会の活動を助成する。

10040122 成人式事業

(単位:千円)

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	812	804	8	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	0	0	0	
一般財源	812	804	8	

【背景(なぜ始めたのか)】

国民的な行事で、多くの自治体で実施されていることから守谷市も実施している。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

新成人者を対象に、人生の節目を記念して成人式を実施し、次代の担い手として今後の活躍を願い祝福する。祝福を受けることで、成人としての自覚を持ってもらう。

新成人による運営委員会を組織し、成人式典を開催する。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

新成人者で運営協力委員会を組織して、成人式の運営や準備を行政と協働で進める。

[実施日] 平成31年1月13日(日)実施予定

[該当者] 平成10年4月2日～平成11年4月1日生まれの方

03020111 児童クラブ運営事業

(単位:千円)

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	141,995	135,008	6,987	
国庫支出金	26,739	20,418	6,321	子ども・子育て支援交付金(放課後児童健全育成事業)
県支出金	26,739	20,418	6,321	子ども・子育て支援交付金(放課後児童健全育成事業)
地方債	0	0	0	
その他	41,282	35,686	5,596	児童クラブ入所負担金 外
一般財源	47,235	58,486	△ 11,251	

【背景(なぜ始めたのか)】

共働き家庭が増加する中、就労支援対策として、平成4年9月仲町(現守谷小学校)児童クラブの開設をスタートに、平成5年に北守谷(現御所ヶ丘小学校)児童クラブ、平成7年に南守谷(現松ヶ丘小学校)児童クラブを開設し、平成8年度から平成12年度までの間に全小学校に放課後児童クラブを開設した。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

留守家庭児童を対象として、放課後帰宅しても保護者(父・母)及び同居親族の就労又は疾病等により留守家庭となる小学生を預り、児童の保護育成と保護者の就業継続に寄与する。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

放課後から午後7時まで、小学校ごとに整備されている専用室において保育を実施する。

保育スキル向上に向けた取組を実施(保育コンサルタントの配置)し、放課後子ども教室と連携させ、小学校の校庭・体育館・特別教室などを活用し、遊びやスポーツ・文化等の活動を安全にできる居場所づくりを行い、児童の健全な成長発達を図る。

平成30年度は、入所児童数増に伴い、大井沢小学校、守谷小学校、松ヶ丘小学校に1クラブずつ増設し、待機児童の解消を図る。

平成24年度から運営業務を民間委託しており、プランマネージャーを中心に、地域ボランティアを活用し、支援員と連携を図りながら実施する。

春休み、夏休み、冬休み及び学校休業日は、保育開始時間を午前7時からとし、サービスの向上を図っている。

[運営業務委託] 株式会社アンフィニ

[今期委託期間] 平成27年4月1日～平成32年3月31日 5年間

10040123 放課後子ども教室事業

(単位:千円)

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	57,738	56,546	1,192	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	11,110	16,829	△ 5,719	放課後子供教室推進事業費補助金
地方債	0	0	0	
その他	5,719	4,762	957	放課後子ども教室事業保護者負担金
一般財源	40,909	34,955	5,954	

【背景(なぜ始めたのか)】

児童が犠牲となる犯罪・事件が多発していることから、子ども達が安心して遊べる場や色々な体験ができる場を提供するため、平成19年度から実施している。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

放課後に小学校の施設を活用して、子ども達の安心・安全な活動拠点を設け、異年齢で遊んだり地域の方々に子ども達の活動を支援してもらうことにより、子どもの交友関係の広がりや地域の教育力の向上につながり、子

ども達が地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

放課後子ども総合プランとして、放課後児童クラブと連携させ、学校の校庭・体育館・特別教室などを活用し、平日の放課後に児童の健全な成長発達を図っていくための遊びやスポーツ・文化等の活動を安全にできる居場所づくりを行う。

平成30年4月から無料日を廃止し、年5回程度の「放課後子ども体験教室」を各子ども教室で実施する。また、参加児童向けのアンケートの結果を反映できるよう、運営委託会社と検討を行う。

平成24年度から運営業務を民間委託しており、プランマネージャーを中心に、地域ボランティアを活用し、支援員と連携を図りながら実施する。

〔運営業務委託〕 株式会社アンフィニ

〔今期委託期間〕 平成27年4月1日～平成32年3月31日 5年間

10040202 文化財保護事業

(単位：千円)

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	1,020	1,032	△ 12	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	0	0	0	
一般財源	1,020	1,032	△ 12	

【背景(なぜ始めたのか)】

文化財保護法第190条に基づき、昭和52年に守谷市文化財保護条例を制定し、先人からの優れた遺産である文化財を適切に保護・活用し、未来に伝えていくことを義務付けた。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

市内に存する有形無形の文化財を保護し、未来に伝えていく。また、適切に活用することで文化財愛護や郷土理解の心を育てる。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

- ・文化財保護審議会の答申に基づき、市内の文化財（未指定含む）に関する調査・評価を行い、特に価値の高いものについては指定（市、県）や記録保存等の措置を取る。
- ・展示会や講座を開催したり図書類を刊行し、文化財や郷土史の理解を深める。
- ・指定史跡や天然記念物の維持管理を行う。
- ・埋蔵文化財の所在が見込まれる土地で土木工事等が行われる場合には、事前に試掘調査を行う。

10040301 東板戸井集会所施設維持管理事業

(単位：千円)

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	1,140	560	580	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	34	34	0	東板戸井集会所使用料
一般財源	1,106	526	580	

【背景(なぜ始めたのか)】

近隣住民のコミュニケーション及びサークル活動等の場を提供するため、昭和58年に開館しており、その施設

を維持管理するための事業である。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

利用者が快適に学習活動や趣味活動ができる場所を提供する。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

利用者が安全に安心して利用できる施設として維持管理を行うとともに、今年度は大会議室及び調理室の床修繕を行い、施設の充実を図る。

10040401 公民館運営管理事業

(単位：千円)

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	122,996	124,815	△ 1,819	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	14,654	8,237	6,417	公民館貸付料, 教育文化振興基金繰入金 外
一般財源	108,342	116,578	△ 8,236	

【背景(なぜ始めたのか)】

市民のコミュニケーション及び生涯学習の場を提供するため、昭和56年に中央公民館、平成4年に郷州公民館、平成8年に高野公民館、平成11年に北守谷公民館を開館しており、その施設を管理・運営するための事業である。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

利用者が安全で快適に学習活動や趣味活動等ができる場所を提供する。

指定管理者による管理・運営により、市民ニーズに効果的、効率的に対応し、民間の能力活用とサービス向上を図る。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

市民サービスの向上を図るために、平成24年度から指定管理者による運営を開始した。

[指定管理者]

アクティオ株式会社・守谷市シルバー人材センター共同事業体

[今期指定期間]

平成27年4月1日～平成32年3月31日 5年間

[指定事業]

各館年間10講座以上、公民館まつり1回

[自主事業]

指定管理者の自己の責任と費用により、実施することができる事業

10040405 中央公民館改修事業

(単位：千円)

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	132,895	0	132,895	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	119,000	0	119,000	公民館施設改修事業債
その他	0	0	0	
一般財源	13,895	0	13,895	

【背景(なぜ始めたのか)】

中央公民館は昭和56年に建築され、市民に充実した生涯学習の場を提供するとともに、守谷市の文化芸術の拠点としての役割を担ってきたが、築後35年以上が経過し、設備の老朽化により運営に支障を来すことを危惧しているため、平成29年度から実施設計を行い、平成30年度から改修工事を行う。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

利用者が安全に安心して利用できるよう施設・設備の改修工事を実施し、快適な学習活動や趣味活動等の場を提供する。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

不具合が続く空調機について、早急な工事が必要なため、平成30年度から2箇年計画で工事を進める。
工事に伴い、平成30年度から平成31年度内に一定の休館期間を設けることを予定している。

10040501 図書館運営管理事業

(単位：千円)

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	187,422	181,980	5,442	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	1	1	0	中央図書館施設行政財産使用料
一般財源	187,421	181,979	5,442	

【背景(なぜ始めたのか)】

市民の強い要望に応え、平成7年5月に開館した守谷中央図書館は、来館する人々にとってゆとりある快適な空間として親しまれており、その施設を管理・運営するための事業である。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

利用者に安全で快適な空間を提供するため、老朽化した設備について計画的な修繕等を行う。
市民の文化教養の向上を目指し、自由で公平な資料提供を中心とする図書館活動により文化の発展に資する。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

市民の様々な学習要求に応えるため、指定管理者制度を導入して市民サービスを向上させるとともに、市民一人当たり500円を目安に図書資料費を確保し、幼児から成人までの幅広い資料の収集に努め、市民の要望に応じた資料を収集する。

また、図書館ネットワークを活用した図書の貸出、返却、予約、リクエスト、レファレンスなど質の高いサービスの提供を行う。

[指定管理者]

図書館流通センター・常総ビル整美共同事業体

[今期指定期間]

平成28年4月1日～平成31年3月31日 3年間

10040507 図書館協議会開催事業

(単位：千円)

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	307	184	123	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	0	0	0	
一般財源	307	184	123	

【背景(なぜ始めたのか)】

守谷市立図書館の適正な運営を図るため設置

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

図書館の運営について、利用者及び関係団体の意見を伺い、より良い図書館運営に資する。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

図書館の運営全般について、年5回会議を開き利用者目線での意見などを伺って図書館サービスの向上につなげる。また、図書館指定管理による第三者評価を図書館協議会が行うことになり、評価を実施している。

10050103 夏休みプール開放事業

(単位：千円)

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	1,065	1,076	△ 11	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	0	0	0	
一般財源	1,065	1,076	△ 11	

【背景(なぜ始めたのか)】

夏休み中の小学校プールの有効利用と児童の安全な遊び場の確保を目指し、昭和47年から子ども会や学校が中心となり学校プールの開放が開始された。

しかし、全国でプール事故が相次ぐ中、監視業務を警備業認定業者に委託しなければ開放できなくなり、監視員の確保等の問題から、平成25年度から常総運動公園プールの開放を開始した。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

夏休み期間中の児童への安全な活動場所を提供するとともに、公共の場における公德心を養う。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

夏休み期間中市内小学校児童に常総運動公園及びジョイフルアスレティッククラブプールの利用券1人3回分を発行し、安全な活動場所を提供するとともに自主的活動を支援する。

【対象】市立小学校全児童

【期間】夏季休業期間と常総運動公園屋外プール延長期間（9月第2日曜日まで）

【利用可能施設】常総運動公園屋外プール及び室内温水プール、ジョイフルアスレティッククラブ室内プール

10050104 市体育協会補助事業

(単位：千円)

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	2,000	1,600	400	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	0	0	0	
一般財源	2,000	1,600	400	

【背景(なぜ始めたのか)】

市民がスポーツに親しむことができ、技術の向上、健康増進と地域の親睦・融和を図るための組織として、昭和43年に「守谷市体育協会」が設立され、その補助事業として開始された。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

市民の健康増進と体力向上のため、各種運動競技の普及発展と競技力向上を目的に活動する体育協会の自主的な事業を支援し、市民交流とスポーツ活動の推進を図る。

また、市が主催するスポーツ大会やイベントへの協力などの積極的参画にも期待する。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

補助金を交付し、各種スポーツ大会、技術講習会等の体育協会の活動を助成する。また、市民がスポーツ活動に参加することにより体力の向上及び健康増進を図るとともに、体育協会及び加盟団体の組織強化を支援する。

平成30年度は、50周年事業として更なるスポーツ事業への協力・内容の見直しをすることで、より多くの方にスポーツと関わる機会や参加しやすい環境を作り、守谷市のスポーツ活動の推進を図る。

〔活動部会〕17部会（平成30年1月現在）

10050105 市スポーツ少年団補助事業

（単位：千円）

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	2,257	2,522	△ 265	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	0	0	0	
一般財源	2,257	2,522	△ 265	

【背景(なぜ始めたのか)】

青少年の健全育成と少年期におけるスポーツの楽しさを教えるため、昭和57年に「守谷市スポーツ少年団本部」が設立され、その補助事業として開始された。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

各種運動競技の普及・発展、競技力向上と各少年団間の交流を目的に活動するスポーツ少年団本部の自主的な事業を支援し、青少年健全育成と児童の体力向上に寄与する。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

- ・補助金を交付し、スポーツ少年団が主催する、各種スポーツ大会、技術講習会等開催費を助成する。
- ・守谷市の代表として出場する全国大会等遠征費を助成する。

10050108 守谷ハーフマラソン開催補助事業

（単位：千円）

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	3,000	2,000	1,000	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	3,000	2,000	1,000	協働のまちづくり基金繰入金
一般財源	0	0	0	

【背景(なぜ始めたのか)】

マラソン大会を通じて新旧住民の親睦を図り、守谷市の知名度を高めるため、昭和59年から実施され、その補助事業として開始された。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

守谷ハーフマラソンに多くの人に参加してもらうことで、幅広い年齢層の人々に健康増進をもたらすとともに、全国からの参加者に守谷市のすばらしさをPRする。

また、大会運営に多くのボランティアが参加しており、市民相互の交流を深める機会になっている。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

- ・毎年2月上旬に開催しており、ハーフマラソン・5km・3km・2kmの男女年代別の種目を設定し健脚を競い合う。
- ・ハーフマラソンについては、日本陸上競技連盟公認コースで茨城陸上競技協会の公認大会となっている。
- ・大会は、守谷市体育協会が主催し、市からの補助金の他、参加費及び企業協賛等により実施している。
- ・大会運営の係員は約800名で、体育協会会員や市民ボランティア等に協力を得ている。

10050110 中学生富士登山事業

(単位：千円)

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	1,301	1,341	△ 40	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	0	0	0	
一般財源	1,301	1,341	△ 40	

【背景(なぜ始めたのか)】

中学生という多感な時期に、日本最高峰の富士登山にチャレンジすることで、青少年の健全育成とスポーツ振興を図るため、昭和61年度から実施している。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

中学生が日本最高峰である富士山に登山することにより自然の素晴らしさを知り、仲間と協力し合うことの大切さを学ぶ。また、団体行動を通して、社会の一員としての自覚を養う。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

市内在住の中学生と指導者が、15人ほどの班を作り協力し合いながら、1泊2日で富士山頂を目指す。

〔実施日〕7月30日(月)・31日(火)

〔対象者〕市内在住の中学生90名

〔指導者〕市体育協会、市スポーツ推進委員、市内中学校教員、市職員等31名

10050111 国民体育大会開催事業

(単位：千円)

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	22,890	15,000	7,890	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	3,169	0	3,169	国体リハーサル大会運営交付金
地方債	0	0	0	
その他	0	0	0	
一般財源	19,721	15,000	4,721	

【背景(なぜ始めたのか)】

平成31年度の第74回国民体育大会「いきいき茨城ゆめ国体」ハンドボール競技会を広く周知し、円滑に運営するため、共同開催地となる守谷市・常総市・坂東市が平成25年度から開催年度(平成31年度)まで継続して国体開催に係る経費を負担することにより、大会運営を支援・推進する。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

平成31年度の第74回国民体育大会「いきいき茨城ゆめ国体」開催の準備を進めるため、守谷市・常総市・坂東市がハンドボール競技共同開催地として必要な事業を行い、ハンドボール競技の普及とスポーツの振興に寄与するとともに、「いきいき茨城ゆめ国体守谷市民協働推進アクションプログラム」に基づき、市民一人ひとりが国体に参加する機運を高め、市全体で国体を盛り上げ、協働のまちづくりの推進につなげる。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

守谷市・常総市・坂東市の共同開催により設置した3市合同の実行委員会事務局が、実行委員会の運営、リハーサル大会及び本大会の広報、競技用具の整備、競技役員の配置、式典、市民協働、歓迎、おもてなし、宿泊・輸送などに関する総合的な業務を行うとともに、守谷市においては、市民ボランティアの育成、応援団の結成、花いっぱい運動の推進等、市民・関係団体との協働により開催準備を進める。

平成30年8月4日から6日に常総運動公園総合体育館を会場に、『第23回ジャパンオープンハンドボールトーナメント』（リハーサル大会）を開催する。

10040106 青少年相談員事業

(単位:千円)

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	134	133	1	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	0	0	0	
一般財源	134	133	1	

【背景(なぜ始めたのか)】

少年犯罪などが社会問題となり、警察ばかりではなく、地域で子供たちを非行や犯罪から守るため、昭和52年に青少年を見守る組織を結成した。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

青少年の健全育成

青少年にとってより良い環境を整える。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

9名の青少年相談員が、青少年の健全育成を推進するため、夏休み防犯パトロールや5月から3月にかけて年に8回守谷駅周辺防犯パトロールを行う。

また、青少年を取り巻く環境を健全に保つため、「青少年の健全育成に協力する店」の登録・訪問などの活動を行う。「いばらき教育の日」では、11月13日に「あいさつ・声かけ運動」のキャンペーンで守谷駅にて啓発活動を行う。

10040118 芸術祭事業

(単位:千円)

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	75	70	5	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	0	0	0	
一般財源	75	70	5	

【背景(なぜ始めたのか)】

昭和52年当時、守谷には文化的イベントが無く、それを不満に感じていた町民有志7名が発起人となって文化協会を設立し、自らの手で芸術祭を開催した。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

- ・市民の文化芸術活動意欲や市民交流を促進し、喜びや生きがいを感じてもらう。
- ・文化芸術活動を通して、市の魅力を発信する。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

文化協会との共催により、以下の事業を行う。

①美術展 ②菊花展 ③若い芽のコンサート ④生花展 ⑤生け花体験教室 ⑥芸能祭 ⑦お茶会

10040119 守谷市美術作家展事業

(単位: 千円)

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	188	185	3	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	0	0	0	
一般財源	188	185	3	

【背景(なぜ始めたのか)】

町内のプロ作家、茨城県美術展覧会入選者の作品を町内で見られるようにするため、昭和60年度に開始した。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

- ・市にゆかりのある作家を知ってもらうことで、郷土に対する愛着を深める。
- ・美術鑑賞の機会を設け、芸術活動への関心を高める。
- ・作家は、他の作家や市民との交流を促進し、創作活動の意欲や郷土意識を高める。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

市内在住・在勤、市出身など、守谷にゆかりのある美術作家の作品展を開催する。

10040407 大野地区公民館運営事業

(単位: 千円)

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	285	189	96	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	0	0	0	
一般財源	285	189	96	

【背景(なぜ始めたのか)】

市民にコミュニケーション及び生涯学習の場を提供するため、昭和33年に大野地区公民館が開館した。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

地域住民が生涯学習活動に参加する機会を設け、参加者の学習意欲の向上を図る。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

地域住民の生涯学習の場として、公民館運営協力員の協力により、講座・教室・地域のイベントを行う。

10050102 スポーツ推進委員活動事業

(単位:千円)

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	865	750	115	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	120	120	0	各種市スポーツ事業参加費
一般財源	745	630	115	

【背景(なぜ始めたのか)】

国の施策として必置性とされ、住民に対するスポーツの実技指導やスポーツに関する指導助言を行う役割を担う守谷市体育推進委員を昭和39年度から設置した。

平成23年8月に施行されたスポーツ基本法により、名称や役割が改められ、スポーツ推進委員として、市のスポーツ振興事業への参画推進、スポーツ振興に関する地域住民と行政との調整を図るコーディネーター役を担っている。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

地域住民のスポーツに対する欲求を把握し、行政とスポーツ振興の具体策を企画・立案・運営するとともに、地域住民に対して熱意をもってスポーツ・レクリエーションの指導等を行う。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

毎月の定例会により、スポーツ事業に関する予算や前年度事業の参加者等の分析を行い、次年度の事業計画立案に生かす。

また、スポーツ研修会等で得た技能を、スポーツフェスティバルなどで市民に紹介する。

10050107 各種スポーツ大会開催事業

(単位:千円)

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	797	797	0	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	528	528	0	各種市スポーツ事業参加費
一般財源	269	269	0	

【背景(なぜ始めたのか)】

スポーツ基本法に定められている地方公共団体の責務として、市が独自にスポーツ大会を開催し、スポーツ競技の振興を図る。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

- ・生活の中でのスポーツとの関わりを市民に再認識してもらう。
- ・大会に参加することで、市民の日頃のスポーツ活動の意識を高める。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

毎年5月上旬から翌年1月下旬にかけて、バドミントン・テニス・グラウンドゴルフ・バレーボール・卓球・軟式野球・ソフトボール・ソフトテニス・バスケットボールの9種目を開催している。

参加者は、市内在住者・在勤者・在学者又は守谷市体育協会登録チームを対象としている。

10050112 スポーツフェスティバル開催事業

(単位:千円)

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	874	836	38	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	874	836	38	協働のまちづくり基金繰入金
一般財源	0	0	0	

【背景(なぜ始めたのか)】

平成22年度から平成27年度まで、3つの事業(健康福祉まつり・スポーツフェスティバル・老人スポーツ大会)を統合し、「健康スポーツフェスティバル」を開催していたが、地域福祉の市民への周知と啓発方法としての成果が期待できない、高齢者が参加を希望する種目が同時時間帯に重なり参加しづらい等の理由で、平成28年度から、老人スポーツ大会、スポーツフェスティバルが単独開催となり、健康福祉まつりは平成27年度をもって終了した。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

- ・スポーツを通じてスポーツの楽しさを体験する。
- ・若年層から高齢者層まで世代を超えた交流およびスポーツや健康づくりの機会を提供し、地域で誰もが安心して暮らせるよう健康増進を図る。
- ・多くの市民の健康づくりに対する意識の向上を図る。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

10月の第4週の日曜日に、常総運動公園で実施

【イベント内容】

小・中学校対校親善リレー、輪投げ、キックターゲット、グラウンドゴルフ体験、ノルディックウォーキング体験、歩け歩け大会、サイクルトライアル、コンピュータ健康測定、プール無料開放 他

10050201 学校体育施設開放事業

(単位:千円)

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	707	752	△ 45	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	707	752	△ 45	学校体育館使用料
一般財源	0	0	0	

【背景(なぜ始めたのか)】

守谷市には市営体育館がなく、学校施設のみのため、市民のスポーツ活動等の場所として昭和55年度から提供している。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

市民がスポーツをすることで、市民の健康増進を図る。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

市民のスポーツ・レクリエーション活動及び体力づくりの場として学校体育館やグラウンドを学校教育に支障のない範囲で開放している。半年ずつ使用更新する定期使用と随時受付する臨時使用があるが、使用に当たっては事前登録申請が必要である。

開放場所: 小学校体育館・グラウンド、中学校体育館・格技場・卓球場